

無線アクセスポイント DAP-2690/N 簡易セットアップマニュアル

・本資料の著作権はエヌ・ティ・ティ・メディアサプライ株式会社に帰属します。本資料の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられています。
 ・本資料に記載されている他社の製品名は、各社の商標または登録商標です。
 ・本資料は平成24年9月現在の情報を基に記載しています。本資料に記載の内容、取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアは将来予告なしに変更する場合がございます。

1. セットアップの前に

本製品を設置するために必要なものを準備します。

本製品に同梱されているもの

< 設置に必須のもの >

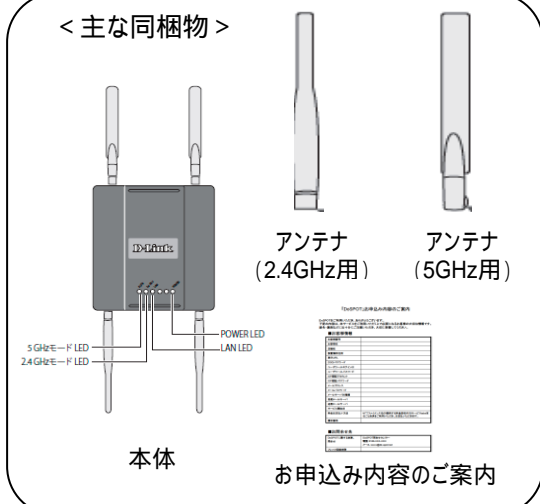
- ・本体 x 1
- ・アンテナ(2.4GHz用) x 2
- ・アンテナ(5GHz用) x 2
- ・ACアダプタ x 1
- ・電源ケーブル x 1
- ・LANケーブル(3m) x 1
- ・お申込み内容のご案内 x 1

< オプションで利用するもの >

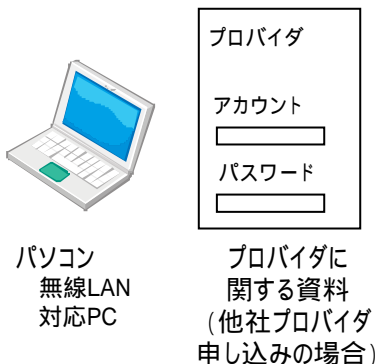
- ・電源変換コネクタ x 1
- ・ウォールマウントキット x 1
- ・PoEアダプタ x 1
- ・クイックインストールガイド x 1
- ・CD-ROM x 1

< その他 >

- ・三角POP x 3
- ・利用規約 x 1



お客様に準備いただくもの



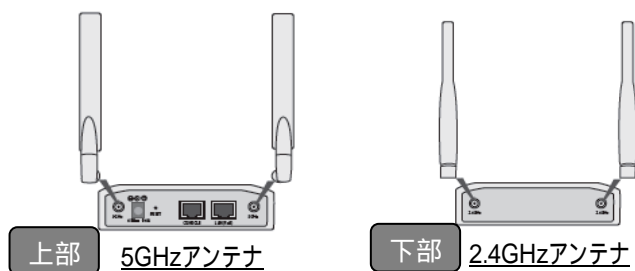
2. 付属品の取り付けおよび接続

本製品を設置するために付属品を取り付けます。

アンテナを取り付けます

5GHzアンテナを本体上部、2.4GHzアンテナを本体下部に2本ずつ取り付けます。取り付けの際はアンテナを折り曲げずに本体のアンテナ結合部に接続し、右回りに締め付けます。

2.4GHzアンテナと5GHzアンテナの形状が異なります。アンテナの誤接続にご注意下さい。取り付け後にアンテナを折り曲げます。



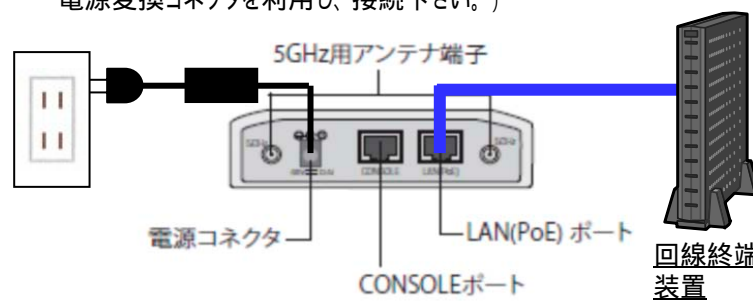
LANケーブルを接続します

付属のLANケーブルを用いてアクセスポイントとホームゲートウェイ/ONU/CTUなどの回線終端装置を接続します。

ウォールマウントキットによる壁面への設置を希望されるお客様については添付のCD-ROM内ユーザーマニュアルを参照の上、設置してください。

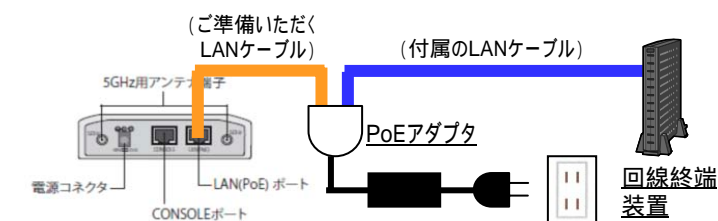
電源ケーブルを接続します

ACアダプタと電源ケーブル、およびACアダプタと電源コネクタに接続し、電源コンセントに接続します。(接地極付コンセント、電源タップ等がご準備できない場合、添付の電源変換コネクタを利用し、接続下さい。)



(参考) PoEアダプタによる接続について

本製品については、PoEアダプタによる電源供給が可能です。設置場所近辺に電源がない場合に有効な接続方法です。(設置には別途LANケーブルが必要です。ご使用のPoE給電機器が電力を供給する本製品までの合計ケーブル長(最大)は100mです。) PoEアダプタを用いた接続構成を以下に示します。

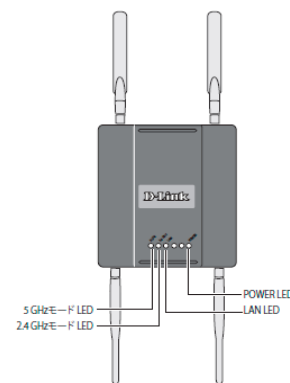


3. 起動確認

本製品を起動し、正常に動作しているか確認します。

起動確認

電源投入後、ランプが右表のように全て点灯・点滅していることをご確認ください。



LED	色	状態	状態説明
POWER	緑	点灯	電源が供給され正常に動作しています。
		点滅	本製品が起動中です。
5GHz	緑	点灯	無線LAN による通信が可能な状態です。
		点滅	無線LAN によりデータを送受信しています。
2.4GHz	緑	点灯	無線LAN による通信が可能な状態です。
		点滅	無線LAN によりデータを送受信しています。
LAN	緑	点灯	ネットワークにリンクしています。
		点滅	ネットワーク上でデータを送受信しています。
		消灯	リンクが確立していません。

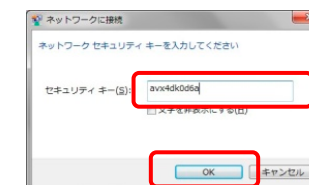
4. パソコン設定(無線)

本アクセスポイントに接続するパソコンの設定を行います。ここではWindows7での設定画面を例としています。

1. [スタート] [コントロールパネル]の順にクリックし、[ネットワークと共有センター]をクリックします。



4. お申込み内容のご案内に記載したSSIDパスワードを「セキュリティキー」に入力し、[OK]をクリックします。(例:セキュリティキーが「avx4kd0d6a」の場合)



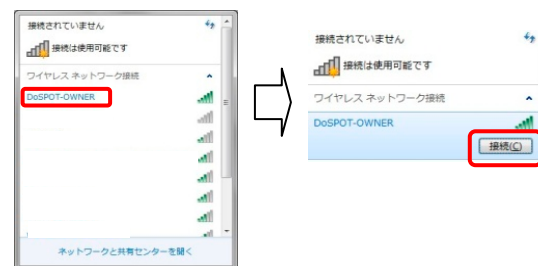
2. [ネットワークに接続]をクリックします。



5. ネットワークに接続されたことをご確認ください。



3. [DoSPOT-OWNER]を選択し、[接続]をクリックします。



6. Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動し、ホームページが閲覧できることを確認します。

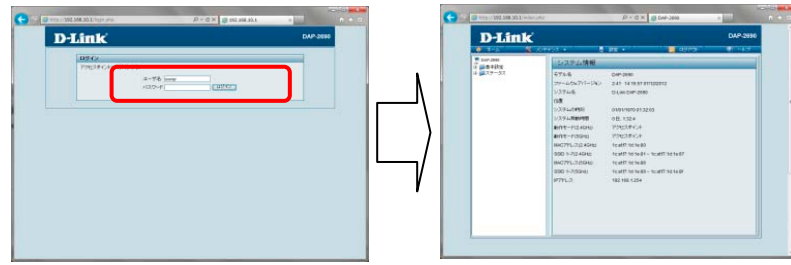
5. 無線アクセスポイントからインターネット (PPPoE) 接続する場合 (一部の方のみ)

本アクセスポイントに設定や状態確認はパソコンから行います。アクセスポイントへの設定等の際に、基本的な操作方法を以下に記載します。ここではInternet Explorer9での設定画面を例としています。

<手順1> 無線アクセスポイントへのログイン方法

本アクセスポイントへのログイン方法は以下の通りです。

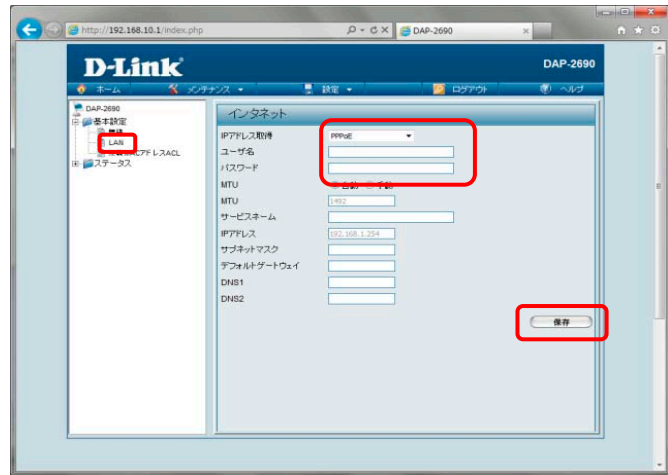
1. ネットワークに接続していることをご確認下さい。
2. Webブラウザを立ち上げ、「<http://192.168.10.254/>」にアクセスしてください。
3. ユーザ名を「owner」とし、パスワード欄には何も入力せずに「ログイン」ボタンを押して下さい(左図)。ログイン後、右図の画面が表示されます。



<手順2> インターネット (PPPoE) 接続設定方法

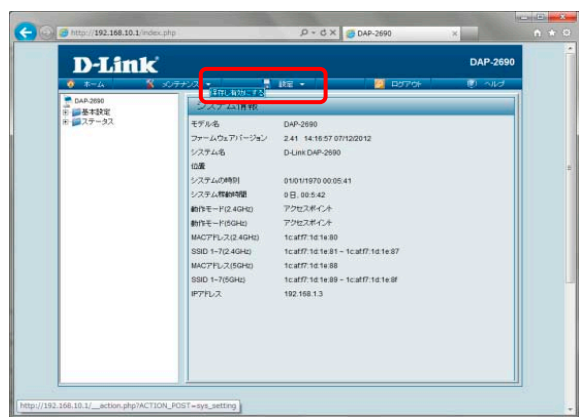
ホームゲートウェイ等がない構成などルータ機能がない場合、本アクセスポイントからインターネット接続することができます。以下ではその手順を記載します。

1. 「基本設定」 - 「LAN」を選択し、IPアドレス取得欄にて「PPPoE」を選択の上、同封の開通案内や、プロバイダに関する資料に記載のユーザ名、パスワードを「ユーザ名」、「パスワード」欄に入力し、保存ボタンを押して下さい。



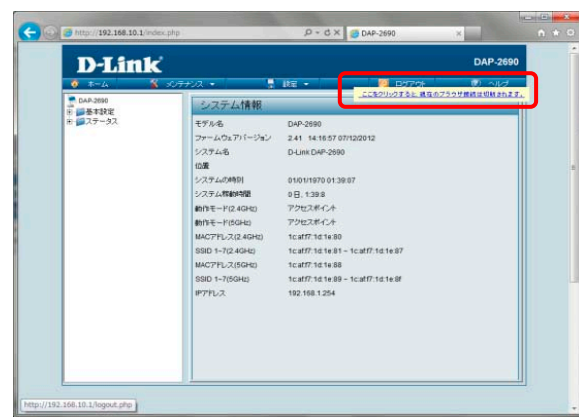
<手順3> アクセスポイント設定の有効化方法

「設定」 - 「保存し有効にする」ボタンを押して下さい。自動的に再起動が行われ、設定が反映されます。



(参考) アクセスポイントからのログアウト方法

アクセスポイントからログアウトする場合は、「ログアウト」 - 「ここをクリックすると、現在のブラウザ接続は切断されます。」ボタンを押してログアウトして下さい。



こちらに記載されていない詳細な設定方法についてはホームページよりダウンロードください。
DoSPOTホームページ : <http://www.do-spot.net/>

安全にお使いいただくために

ご自身の安全を確保し、システムを破損から守るために、以下に記載する安全のための指針をよくお読みください。

安全上の注意

必ずお守り下さい

ご使用いただくにあたって

本製品を安全にお使いいただくために、以下の項目をよくお読みになり必ずお守りください。

	警告	この表示を無視し、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になるおそれがあります。
	注意	この表示を無視し、間違った使い方をすると、傷害または物損損害が発生するおそれがあります。

記号の意味

「禁止」内容です。 「指示」の内容です。

	警告	
	分解禁止	分解・改造をしない 機器が故障したり、異物が混入すると、やけどや火災の原因となります。
	禁止	落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない 故障の原因につながります。
	禁止	発煙、焦げ臭い匂いの発生などの異常状態のまま使用しない 感電、火災の原因となります。使用を止めて、ケーブル/コード類を抜いて、煙が出なくなったら販売店に修理をご依頼してください。
	ぬれ手禁止	ぬれた手でさわらない 感電のおそれがあります。
	水ぬれ禁止	水をかけたり、ぬらしたりしない 内部に水が入ると、火災、感電、または故障のおそれがあります。
	禁止	油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所、振動の激しいところでは使わない
	禁止	内部に金属物や燃えやすいものを入れない 火災、感電、または故障のおそれがあります。
	禁止	表示以外の電圧で使用しない 火災、感電、または故障のおそれがあります。
	禁止	たこ足配線禁止 たこ足配線などで定格を超えると火災、感電、または故障の原因となります。
	禁止	設置、移動のときは電源プラグを抜く 火災、感電、または故障のおそれがあります。
	禁止	雷鳴が聞こえたら、ケーブル/コード類にはさわらない 感電のおそれがあります。
	禁止	ケーブル/コード類や端子を破損させない 無理なねじり、引っ張り、加工、重いもの下敷きなどは、ケーブル/コードや端子の破損の原因となり、火災、感電、または故障につながります。
	禁止	正しい電源ケーブル、コンセントを使用する 火災、感電、または故障の原因となります。
	禁止	乳幼児の手の届く場所では使わない やけど、ケガ、または感電の原因となります。
	禁止	直射日光のあたる場所、高温になる場所および動作環境範囲外の場所では保管、使用をしない 光源をのぞかない 光ファイバケーブルの断面、コネクタ、および製品のコネクタをのぞきますと強力な光源により目を損傷するおそれがあります。
	注意	
	静電気注意	コネクタやプラグの金属端子に触れたり、帯電したものを近づけますと故障の原因となります。
		コードを持って抜かない コードを無理に曲げたり、引っ張りますと、コードや機器の破損の原因となります。
		振動が発生する場所では使用しない 接触不良や動作不良の原因となります。
	禁止	付属品の使用は取扱説明書にしたがう 付属品は取扱説明書にしたがう、他の製品には使用しないでください。機器の破損の原因となります。

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書の記載に従って正しい取り扱いをしてください。

電波に関するご注意

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線製品として、技術基準適合証明を受けています。従って、本製品の使用する上で、無線局の免許は必要ありません。本製品は、日本国内でのみ使用できます。以下の注意をよくお読みになりご使用ください。

- この機器を以下の場所では使用しないでください。
- ・心臓ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器の近くで使用すると電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
 - ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を必要とする無線局)および特定小電力無線局(免許を必要としない無線局)
 - ・電子レンジの近くで使用すると、電子レンジによって無線通信に電磁妨害が発生します。
- 本製品は技術基準適合証明を受けています。本製品の分解、改造、および裏面の製品ラベルをはがさないでください。

5GHz 帯使用の無線機器に関するご注意

電波法により、5GHz 帯(IEEE 802.11a) は屋外での使用が禁止されています (W56 を除く) 。
従来の中心周波数 (J52) を使用した機器とは通信チャンネルが異なるために通信できません。
5GHz 帯の W53 / W56 使用時は気象レーダー等との電波干渉を避けるためにチャンネルを自動的に変更する場合があります。 (DFS 機能)

2.4GHz 帯使用の無線機器の電波干渉に関するご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用している移動体識別用の構内無線局(免許を必要とする無線局)および特定小電力無線局(免許を必要としない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を必要とする無線局)が運用されています。

本製品は2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局の帯域が回避可能です。変調方式としてはDS-SS方式およびOFDM方式を採用しており、想定干渉距離は40m以下となります。
この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の送出を停止してください。
その他、この機器から移動体通信用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社サポート窓口へお問い合わせください。

無線LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物 (壁等) を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、以下の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- ・ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
 - ・メールの内容
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、以下の行為を行う可能性があります。
- ・個人情報や機密情報を取り出す (情報漏洩)
 - ・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す (なりすまし)
 - ・傍受した通信内容を書き換えて発信する (改ざん)
 - ・コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する (破壊)

本来、無線LAN カードや無線アクセスポイントは、これらに対応するためのセキュリティの仕組みを持っているので、無線LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。